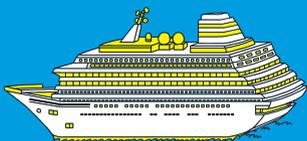
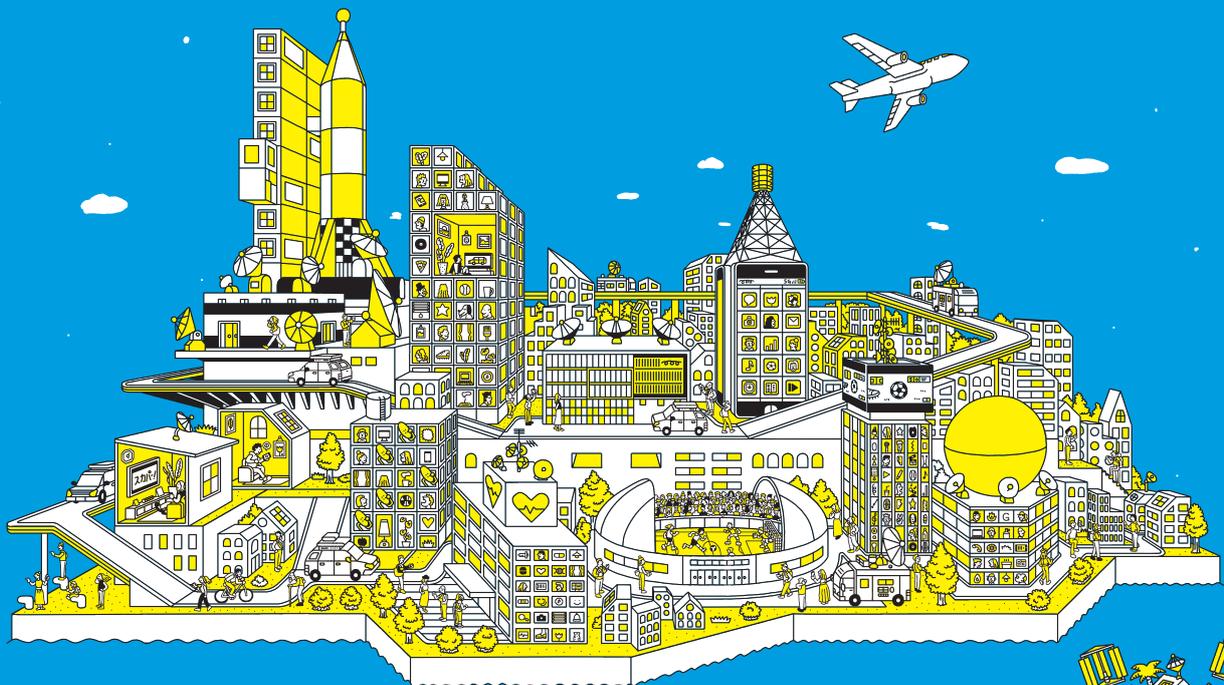


2023年3月期第2四半期 証券コード:9412

# 株主通信



株式会社スカパーJSATホールディングス





代表取締役社長  
米倉 英一  
Eiichi Yonekura

スピード感をもって新領域への投資を行い、サステナブルな成長を目指します。

**Q1** 2Q業績について  
お聞かせください。

2023年3月期第2四半期においては、宇宙事業において引き続きグローバル・モバイル分野における増収が利益を牽引しています。メディア事業においては、加入者の減少による減収傾向は続いているものの、構造改革の推進により、費用の効率化を進めております。

その結果、営業収益は前年同期比393百万円減少の57,996百万円、営業利益は前年同期比294百万円増加の11,147百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比830百万円減少の7,703百万円となりました。下期に向けて

は宇宙事業においてさらなる増収を見込んでおり、概ね計画通りに進んでいます。

**Q2** 2030年の目標に向けた取り組みの進捗についてお聞かせください。

通期決算説明会で発表した、2030年の目標達成に向けて、両事業とも着実に取り組みを進めています。

宇宙事業においては、日本電信電話(株)との合弁会社「株式会社Space Compass」を7月に設立いたしました。この会社では、静止衛星のほか、低軌道衛星やHAPSも含めた非地上系通信ネットワークである「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」を構築し、

宇宙RAN事業と光データ通信を使った宇宙データセンタ事業を行います。この実現に欠かせない光データリレーサービスの提供に向けて米国Skyloom Global Corporationと協業合意するなど、着実に進展しています。

メディア事業においても、さまざまな動画配信サービスが乱立する中、既存の設備や技術、ノウハウを活用してコンテンツ保有者や配信事業者の課題を解決するメディアソリューション事業が実績を積み上げているほか、コネクテッドTV(CTV)事業の実現に向けて接続機器の開発等を進めており、来年から実証実験を行う予定です。

▶ 営業収益(億円)



▶ 営業利益(億円) / 営業利益率(%)



▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(億円)



### Q3 ESGへの取り組みについて教えてください。

環境については、事業基盤である通信衛星は太陽光エネルギーで運用されており、地上回線に比べて約3分の1の消費電力で運用することが可能であるなど、事業が環境に与える負荷はそれほど大きくありません。しかしながら、脱炭素社会の実現に向けて、2022年1月の横浜衛星管制センター、茨城ネットワーク管制センターに加え、本社やスカパー東京メディアセンターも実質的な再生可能エネルギー由来の電力へと切り替えました。また、太陽光発電供給に向けた日照量の予測、風力発電システムへの通信提供等、事業を通じた再生可能エネルギー供給への取り組みなどを通じて、当社ならではの脱炭素社会、循環型経済の実現を目指しています。

社会については、一人ひとりの社員が最大限に力を発揮できるよう、テレワーク環境を整備する一方で、コミュニケーションスキル向上のための研修や、キャリアディベロップメントの機会、自己啓発支援制度等を設けています。また、昨年9月に定めた健康経営方針「従業員の心身の健康を維持し、パフォーマンスを最大化して、生産性を高める」のもと、健康経営も推進しています。

ガバナンスについては、従来より任意の指名報酬委員会の設置や、社外取締役の選任、役員の業績連動報酬制度などに取り組んできました。当社の取締役のみならず、事業会社の執行役員にも譲渡制限付株式報酬制度を導入しておりますが、株主の皆様と同じ目線を持たせることで、企業価値向上への意識を高め、成長に向けた経営課題に取り組むこと

を促しています。また、適切にリスクテイクをしながらスピード感をもって成長への投資を行うべく、リスクマネジメントやガバナンスの強化を進めています。

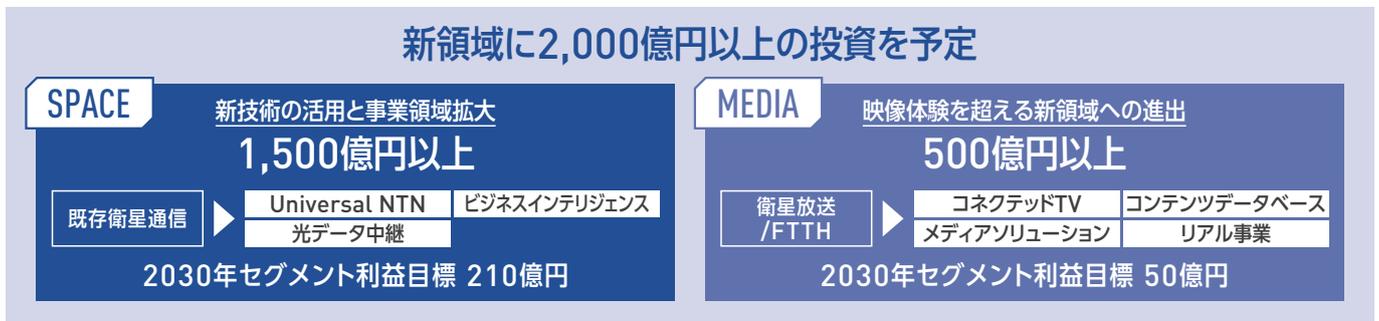
### Q4 株主の皆様メッセージをお願いします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は現在、4月に公表した「2030年に目指す姿」の実現のために、かつてない規模の資金と人財を投資しようとしています。宇宙事業、メディア事業を併せ持つユニークで面白い会社、新しいものにチャレンジし、キラキラ輝くような会社に変貌させたいと考えています。

株主の皆様には、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 2030年に向けて



**持続可能な成長 2030年に当期純利益250億円超を目指す**

#### ▶ 純資産(億円)／自己資本比率(%)

■ 純資産 ● 自己資本比率



#### ▶ 1株当たり配当金(円)

■ 第2四半期 □ 通期



#### ▶ 2023年3月期業績予想

営業収益	<b>1,200億円</b>
営業利益	<b>210億円</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>150億円</b>



## サステナビリティ経営の推進

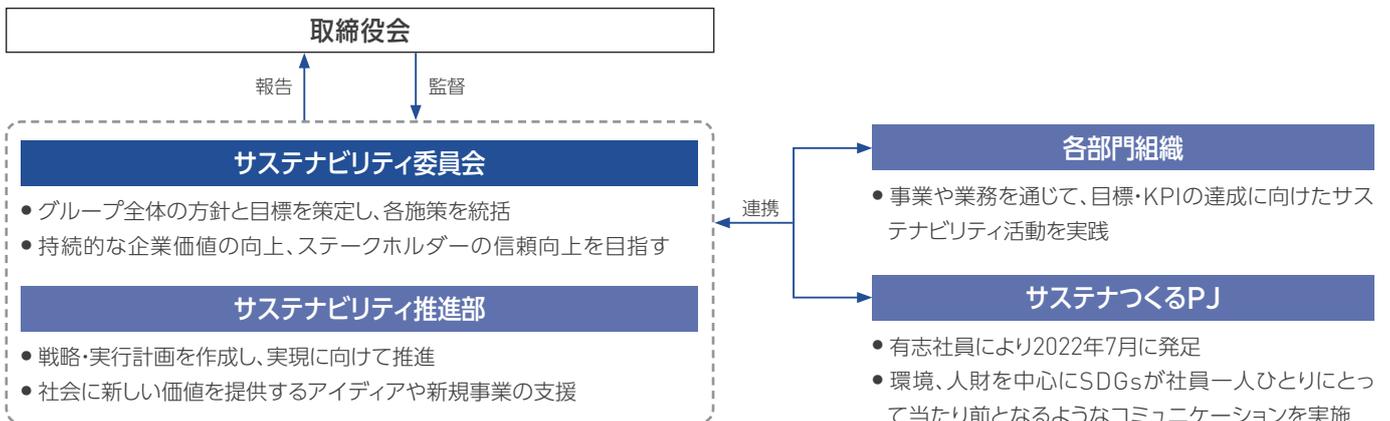
新領域へ積極的に投資していくことで  
基礎収益力を高め、サステナブルな成長を目指します。

サステナビリティ委員会委員長  
株式会社スカパーJSATホールディングス 取締役  
松谷 浩一  
Koichi Matsutani

2021年度は、9つの重要課題(マテリアリティ)テーマと22の重要課題を特定し、「2030年にありたい姿」と中長期、短期の目標・KPIを設定しました。また、グループミッションである「Space for your Smile」をサステナビリティ方針としても再定義し、価値創造ストーリーを策定するなど、今後の指針と道筋、目標、アクションプランが整いました。今後はサステナビリティ委員会および取締役会がその進捗を監視し、サステナビリティ経営の深化を図ります。2022年10月にはサステナビリティ推進部が発足し、全社で取り組む体制を強化しました。これにより深化を加速してまいります。

経営側からサステナビリティ経営を推進する一方で、社員によるSDGs浸透活動も進んでいます。2021年度までは有志社員によるワーキンググループとして活動をしていましたが、会社を変革する実行力を高めるため、2022年度より全社プロジェクトとして再スタートしています。社員発信の活動と経営との両輪で、会社と社会の持続的な発展を目指します。

### サステナビリティ経営の推進体制



## 「統合報告書2022」発行

この度、「統合報告書2022」を当社WEBサイトにて公開しました。本報告書は、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、スカパーJSATグループの目指す姿についてご理解を深めていただくことを目的に発行しています。

2022年版では、非財務情報の開示を強化し、

ESGやSDGsに紐づく当社の取り組みを紹介しています。

また、サステナビリティ経営の深化に向けた取り組みの進捗に関する情報は、当社WEBサイト内サステナビリティページ等を通じてお伝えしていきますので、ぜひご覧ください。

## サステナビリティ関連ニュース

2022  
6月

2022年6月 スマート行使で抑制された議決権行使書郵送料分を「国境なき医師団」に寄付

2022年6月 TCFDに基づく情報を開示

2022年6月 女子硬式野球トーナメントをTV生中継

九州、沖縄地区の高校・大学の女子硬式野球部ならびにクラブチームが女子野球NO.1を決める「クイーンズトーナメント」の初めてのTV生中継を実現しました。女子野球の発展、野球を通じた健全育成と、野球のさまざまな魅力をお伝えし、スポーツにおける多様性を理解していただく一助になればと考えております。



© Fukuoka SoftBank HAWKS

2022年6月 海のクレヨン 売上の一部を寄付

衛星画像を活用して地球に存在する彩り豊かな美しい「色」を通して環境問題を考える“Satellite Crayon Project”。第1弾として本年1月に「海のクレヨン」を発売し、約6,000個を販売。売上のうち567,000円をキリバス共和国に寄付しました。この度の寄付金は、気候変動による被害対策を行う自然災害基金として活用される予定です。



7月

2022年7月 電気供給サービス「スマ電CO2ゼロ with スカパー！」の販売開始

10月

2022年10月 サステナビリティ推進部新設

11月

2022年11月 東京メディアセンターの脱炭素化に向けた取り組み

スカパー東京メディアセンター(TMC)における電力購入契約を見直し、使用電力を実質的な再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えました。TMCはスカパー!とSP00Xの放送/配信センターとして、24時間365日稼働しています。脱炭素社会の実現に向け、当社グループの実質再エネの使用比率を2022年度末までに80%以上、2030年までには100%を目指してまいります。



E:環境

- 2つの衛星管制センターの使用電力を実質的な再生可能エネルギー由来の電力へ転換。他拠点においても導入を進め2030年に100%を目指す

S:社会

- 人財関連の方針や指標の開示を充実
- 現場で働く社員の声を紹介

G:ガバナンス

- 社外取締役・監査役対談「中長期的な成長に向けて」

統合報告書

[https://www.skyperfectjsat.space/ir/library/jsat\\_report/](https://www.skyperfectjsat.space/ir/library/jsat_report/)



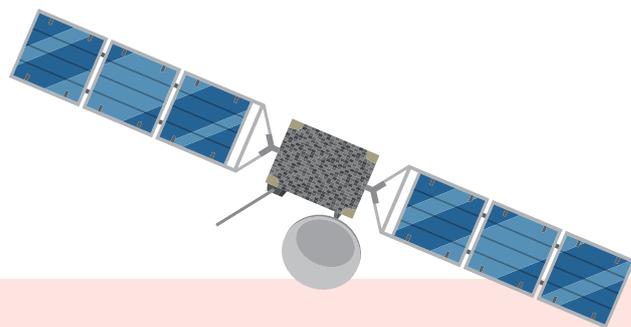
サステナビリティサイト

<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>



# 宇宙事業

SPACE BUSINESS



## 2023年3月期第2四半期の取り組み

国内衛星ビジネスでは、総務省が運用するC帯静止衛星監視設備の整備事業を2022年6月に受注し、2024年4月の運用開始を予定しています。当社のノウハウを活かし電波監視機能を高めることで、安全で公平な周波数利用環境の維持に貢献してまいります。

グローバル・モバイルビジネスでは、ハイスループット衛星JCSAT-1Cの活用を進めており、インドネシアのPT. INDO PRATAMA TELEGLOBALとのパートナーシップによる高速通信サービスの提供を2022年4月から開始いたしました。超高速海洋ブロードバンドサービス「JSATMarine」においてもJCSAT-1Cの活用を予定しており、同じくハイスループット衛星であるHorizons 3eとともに、今後の収益拡大を見込んでおります。

また、2022年7月には通信衛星Superbird-9の打ち上げサービス調達契約をSpace Exploration Technologies Corporation (SpaceX)と締結しました。Superbird-9は、2025年度にサービスを開始する予定であり、本衛星の投入により市場や顧客の多様なニーズに対応し、日本をはじめとする東アジア地域における一層の事業拡大と競争力強化に努めてまいります。

## 成長への取り組み

宇宙事業は、従来からの静止衛星だけでなく、新たな宇宙インフラの構築に挑戦します。低軌道衛星も利活用した新領域、特にUniversal NTN、宇宙データビジネス、光データ中継へ取り組み、さまざまなモノがデータを介してつながる超スマート社会(Society 5.0)の実現に貢献してまいります。

## Skyloomとの協業により光データリレーサービス開発を加速



Space Compass

<https://space-compass.com/>



スカパーJSATは、「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」構想の実現に向け、日本電信電話(株)と合併会社(株)Space Compassを2022年7月に設立しました。9月には、Space Compassと米国通信イノベーターSkyloom Global Corporationとの間で、地球観測市場に向けた光データリレーサービスの提供を目指す新たな協業の検討に合意しました。2024年にアジア上空の静止軌道に光データリレー衛星の初号機を打ち上げ、2026年までに地球をグローバルにカバーするサービスの展開を視野にいれ、検討を進めています。

現在、国内外において低軌道衛星による地球観測ビジネスが急速に拡大し、膨大なデータが宇宙で生まれています。Space CompassとSkyloomは、衛星を経由した光通信により、それらの大容量データをリアルタイムに伝送するサービスの実現を目指しています。

## 光データリレー衛星とは？ 光と電波の違い

光データリレー衛星による通信は、光ファイバと同じ光による通信です。衛星からデータを光で送るには、「有線のファイバ」ではなく「無線の宇宙空間」を使います。1880年頃から研究は行われていたものの、光は大気の変化に弱く実用化には至りませんでした。また、浜名湖付近を走行する新幹線から富士山頂のサッカーボール大の的を射るような、高度な技術も必要でした。一方で光は電波より約10倍も速度が速くセキュリティにも強い特性があります。地球観測のデータ容量増大を背景に再び着目され、世界で開発が進んでいます。

# メディア事業

MEDIA BUSINESS



## 2023年3月期第2四半期の取り組み

放送事業・配信事業では、スポーツにおいて、昨シーズンに引き続き「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信し、また、海外サッカー「ドイツ ブンデスリーガ」の全試合を放送・配信しております。「スカパー! 基本プラン無料ではじめトク!キャンペーン」および有料配信「SP00X/バリュープラン割」キャンペーン等を通じて加入基盤の拡大および維持を図っております。

リアル事業では、「ドイツ ブンデスリーガ」全試合の放送・配信にとどまらず、一部クラブの公式関連グッズを日本販売しております。また、「ブンデスリーガジャパンツアー2022 powered by スカパー!JSAT」を11月に開催し、スポーツライブイベントの醍醐味をファンの皆様にお届けしました。

FTTH事業では、光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスにおいて着実に提供エリア拡大を進めており、提供可能世帯数は2022年9月末時点で35都道府県・約3,400万世帯、契約世帯数は258万世帯に達しています。

また、新たな取り組みとしましては、Frame00(株)へ資本参加するとともに協業を開始し、ブロックチェーン関連技術を活用したメディア・エンターテインメント業界でのWeb3関連事業を創出してまいります。

## 成長への取り組み

メディア事業は、人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして、多様で創造性豊かな社会の実現に貢献するため、放送+配信+リアルを軸に、ファンの体験を拡張させてまいります。

### スカパー!番組配信でスカパー!をもっと便利にお楽しみいただけます

「スカパー!を外先でも楽しみたい!」「楽しみにしていた番組を見逃した…」そんなときに便利なサービスが「スカパー!番組配信」です。スマホやタブレット、PCからいつでも、どこでもご利用いただくことができます。

1アカウント3台まで視聴可能で、映画やドラマ、スポーツ中継など、スカパー!だからこその充実のラインナップをリアルタイムや見逃し配信でお楽しみいただけます。

スカパー!では、放送に加えて「番組配信」の価値を提供することにより、新規加入しやすくするとともに、放送サービスご契約者の利便性向上を目指します。

※番組配信を視聴するためには放送契約が必要です。

詳しくは、公式サイトでご確認ください  
<https://streaming.skyperfectv.co.jp/>

### スカパー! 基本プラン視聴料加入翌月390円キャンペーン

2022年11月1日～2023年1月31日の期間中、スカパー!に新規ご加入し、スカパー!基本プランを新規ご加入と同月にご契約されたお客様は、スカパー!基本プランの初回視聴料が390円(税込)となります。(別途、基本料429円(税込)がかかります)

詳しくは公式サイトまで  
<https://promo.skyperfectv.co.jp/guide/kihon/campaign/>



## ステークホルダーとの対話

### 第16回 株主様アンケートご協力をお願い

当社グループでは、毎年株主様アンケートを実施させていただいております。ぜひ、皆様の株式投資に関するお考えや当社グループへのご意見をお寄せください。今後の経営およびIR活動の参考とさせていただきます。2023年1月6日(金)までにご回答をお願いいたします。



## カレンダープレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で500名様にスカパーJSATの2023年卓上カレンダーをプレゼントいたします。抽選に参加される方は、2022年12月15日(木)までにご回答ください。なお、発表は発送をもって代えさせていただきます。カレンダーの送付先は、アンケートサイトにご入力いただいた住所となります。また、今年は電子版カレンダーを作成いたしました。どなたでも以下URLよりダウンロードいただけます。



[https://www.skyperfectjsat.space/company/resume/digital\\_calendar/](https://www.skyperfectjsat.space/company/resume/digital_calendar/)



右記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
<https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問合せ [e-株主リサーチ事務局] MAIL: info@e-kabunushi.com

## 株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正ともない、2022年9月に株主総会資料の電子提供制度が施行されました。当社では、2023年3月以降開催の株主総会から、株主総会資料を当社ホームページ等に掲載させていただきます。これまでと同様に株主総会資料の書面での送付をご希望される株主様は、書面交付請求手続きが必要となります。

詳しくは同封のリーフレットを▶ご参照ください。

お問合せ先 **みずほ信託銀行 電子提供制度専用ダイヤル**  
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

**0120-524-324**



## 会社概要 (2022年9月30日現在)

会社名	株式会社スカパーJSATホールディングス (SKY Perfect JSAT Holdings Inc.)
設立	2007年4月2日
資本金	10,081百万円
従業員数	841名(連結) (2022年3月31日現在)
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
電話番号	03-5571-1500(代表)

## 株主構成 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,450,000,000株
発行済株式の総数	297,404,212株
株主数	36,057名

### 株式分布状況



## 取締役・監査役

代表取締役社長	米倉 英一	取締役(非常勤)	中谷 巖
代表取締役	福岡 徹		藤原 洋
取締役	小川 正人		大賀 公子
	松谷 浩一		清水 賢治
			於保 浩之
		監査役	大江 淳彦
			小川 晃
		監査役(非常勤)	高橋 勉
			大友 淳

## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
取引市場	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	9412
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

## お問合せ先

**お取扱窓口** 証券会社に口座をお持ちの場合、各お取引の証券会社等へお問い合わせください。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記「お取扱店」にてお取次いたします。

**お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324  
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

**お取扱店** みずほ信託銀行本店および全国各支店

**未払配当金のお支払** みずほ信託銀行本店および全国各支店  
みずほ銀行本店および全国各支店

\*支払明細の発行については、上記の「お問合せ先」または「お取扱店」をご利用ください。

## 免責事項

本株主通信に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、さまざまなリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。

